

～ 県内登録認定クラブ ～

<登録順>

No.	地域	クラブ名	No.	地域	クラブ名
1	四国中央市	川之江TRACK&FIELDクラブ	8	砥部町	特定非営利法人 とべスポーツクラブ
2	新居浜市	楽 SPO船木	9	大洲市	特定非営利法人 おおずスポーツクラブ
3	今治市	特定非営利法人 今治しまなみスポーツクラブ	10	八幡浜市	楽スポGOやわたはまスポーツクラブ
4	松山市	ONOスポーツクラブ	11	西予市	のむらスポーツクラブ
5	松山市	SportClubMatsuyama(SCマツヤマ)	12	西予市	みかめスポーツクラブ
6	松山市	ファンフィールド松山	13	宇和島市	うわじまアウトドアスポーツクラブ
7	東温市	特定非営利法人 トレーフルスポーツクラブ	14	伊予市	一般社団法人 SASAERU

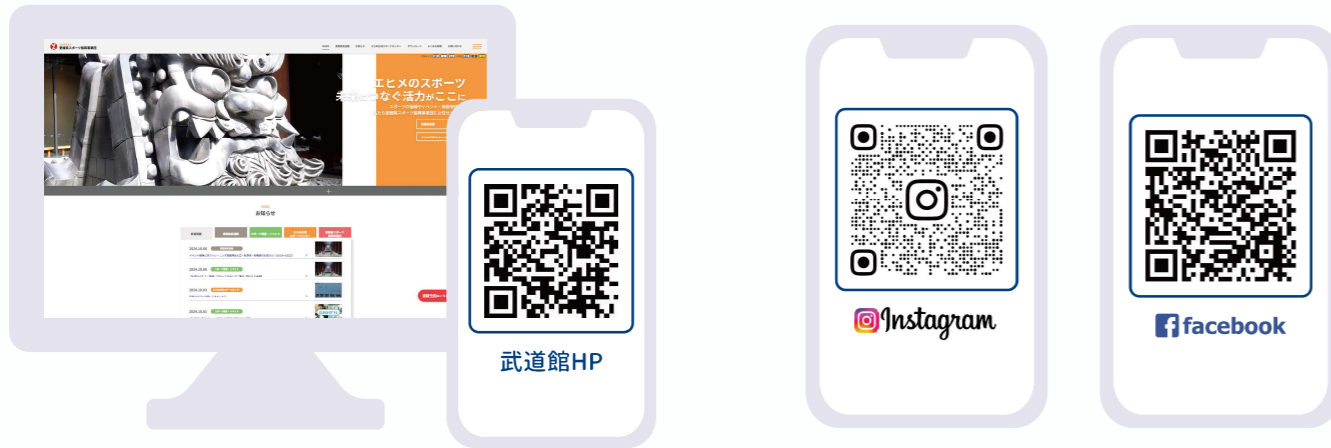
総合型地域スポーツクラブに関する各種情報提供

下記の媒体において、県内の総合型クラブ活動の様子や県外クラブの情報提供、えひめ広域スポーツセンターの支援内容など、クラブ運営に役立つ情報を随時発信しています。総合型クラブの関係者はもちろん、スポーツに関わるさまざまな方々にもご活用いただける内容となっています。

ぜひ、多くの皆さまにご覧いただき、日々の活動やクラブ運営にお役立てください。今後ともよろしくお願いたします。

えひめ広域スポーツセンター ホームページ
<https://ehime-spa.jp/>

愛媛県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会
 SNSアカウント



えひめ広域スポーツセンター

総合型地域スポーツクラブに関することはお気軽にお問合せください。

TEL 089-965-3111 Mail kouiki@ehime-spa.ne.jp

住所 愛媛県松山市市坪西町551 愛媛県武道館内



えひめ広域スポーツセンター情報誌

総合型クラブだより

第4号

TOPIX

- 1 愛媛県総合型地域スポーツクラブサミット2024開催報告について
- 2 総合型地域スポーツクラブ登録審査会実施について



1 愛媛県総合型地域スポーツクラブサミット2024開催の様子

令和7年1月25日(土)13:30より、愛媛県武道館大会議室にて「愛媛県総合型地域スポーツクラブサミット2024」を開催しました。

今年のテーマは「総合型クラブがつなぐ地域スポーツの未来 ～学校と連携する都市と地方の事例から学ぶ～」でした。はじめに県内の取り組みについて情報提供を行った後、県外から2名の講師をお招きし、それぞれの活動事例や地域連携についてご講演いただきました。当日のサミットには、総合型クラブ関係者に加え、市町行政や学校関係者など、多くの方々にご参加いただきました。

はじめに、県内の総合型クラブに関する情報提供を行い、内子町教育委員会より、内子町の取り組みについて発表していただきました。

内子町では「部活動移行推進連絡協議会」で、段階的に地域での運営を検討しています。まずは拠点校を中心に部活動の整理を進め、令和8年度からは新たに公益性の高い総合型地域スポーツクラブを設立し、部活動を地域活動として展開する計画が検討されています。えひめ広域スポーツセンターもこの協議会にオブザーバーとして参加し、情報提供を行っています。

県内では地域ごとに状況が異なり、部活動



移行の推進は依然として課題が多い状況ですが、このような内子町の取り組みや今回のクラブサミットの内容が、ほかの地域での運営にお役立できれば幸いです。

講演1: 岐阜県「一般社団法人スポーツリンク白川」(渡辺靖代氏)

渡辺氏は、岐阜県加茂郡白川町で活動する「一般社団法人スポーツリンク白川」のクラブマネージャーです。白川町は中山間地域に位置し、交通環境や人口減少といった課題を抱えていますが、そうした地域特有の困難を克服し、充実した活動を展開するまでの経緯についてお話いただきました。

白川町では、スポーツ協会やスポーツ少年団など複数の団体を統合し、効率的な活動を目指して総合型クラブ「スポーツリンク白川」を設立されました。設立初期は予算依存な考え方でしたが、自主運営の考え方へ転換されました。大変苦勞されたとのことでしたが、現在では子どもから高齢者まで多様なプログラムを実施し、部活動の受け皿としても機能しています。学校や行政、保護者が協力・連携している点が特徴で、入学説明会では渡辺氏がクラブの説明を行う場面や部活動と地域活動との間の時間において、保護者が監督して活動できるよう独自の運営要項も策定されているそうです。

愛媛県も人口減少、広域な地域においては、とても参考となる事例をお話いただきました。



講演2: 神奈川県「高津総合型スポーツクラブSELF」(菊地正氏)

菊地氏は、川崎市高津区で活動する「高津総合型スポーツクラブSELF」の理事長です。同クラブは、高津中学校内にクラブハウスを設け、放課後の学校施設利用調整も担っています。平日昼間から地域の人々が学校に出入りするこの運営形態は、地域と学校の連携が強く、愛媛県ではまだハードルが高いと感じられる先進的な取り組みでした。また、川崎市のスポーツ施設指定管理業務や小学校の用務員業務も受託し、地域課題解決に寄与しています。

菊地氏がPTA会長を務めていた時期から学校との良好な関係が築かれており、地域の課題は地域住民が解決するという信念のもとクラブを設立されました。設立に際しては準備委員会の再編成など苦勞も多かったそうですが、現在では学校や行政との強固な信頼関係を築いています。



部活動移行についても積極的に関与しており、指導者の確保や学校との調整に取り組んできました。しかし、令和6年度は川崎市が一般競争入札を実施した結果、一般企業が業務を受託しました。その結果、指導者不足や調整不備が発生し、活動継続が困難になる事態に陥りました。この経験を通じて、持続可能な地域団体が受け皿となる重要性を改めて認識されたそうです。

高津総合型スポーツクラブSELFの事例は非常に先進的であり、現時点で同規模の活動を愛媛県で展開するのは難しいかもしれません。しかし、そこに至るまでの取り組みや課題克服の経験は大いに参考となるものでした。特に、地域課題の解決に向けて学校・行政・地域住民が連携する姿勢は、愛媛県においても理想とする総合型クラブの在り方だと感じました。

最後に、両講演者を交えた質疑応答兼パネルディスカッションを実施し、参加者との意見交換を通じて議論を深めました。

都市と地方それぞれの事例から多くの学びが得られたサミットとなり、愛媛県における総合型クラブと地域連携の今後の発展につながる有意義な機会となりました。



② 「愛媛県総合型地域スポーツクラブ登録審査会」実施について

令和7年1月22日(水)に令和7年度の登録申請を行った県内総合型クラブの登録審査会が実施されました。この「登録・認証制度」とは、(公財)日本スポーツ協会による制度で、全国の登録基準に基づき、申請された書類を基に各都道府県の審査会を経て、全国総合型地域スポーツクラブ連絡協議会(通称:全国SCネットワーク)という組織に登録されます。令和5年度から本登録が開始となり、令和7年度は県内14クラブが登録申請を行いました。審査会にて、14クラブ全て登録認定されたので、令和7年度の全国SCネットワーク登録クラブとして認定されます。

県内登録認定クラブについては、次のページをご覧ください。

